Hino Vision 50

法政大学エコ地域デザイン研究所
製作：永瀬克己+氏家健太郎

このグランドデザイン案は市長と市民の意見交換会、及び市政経営懇談会の懇談会の意見も反映し、
法政大学エコ地域デザイン研究所（以下エコ研）メンバーで議論して作成されました。

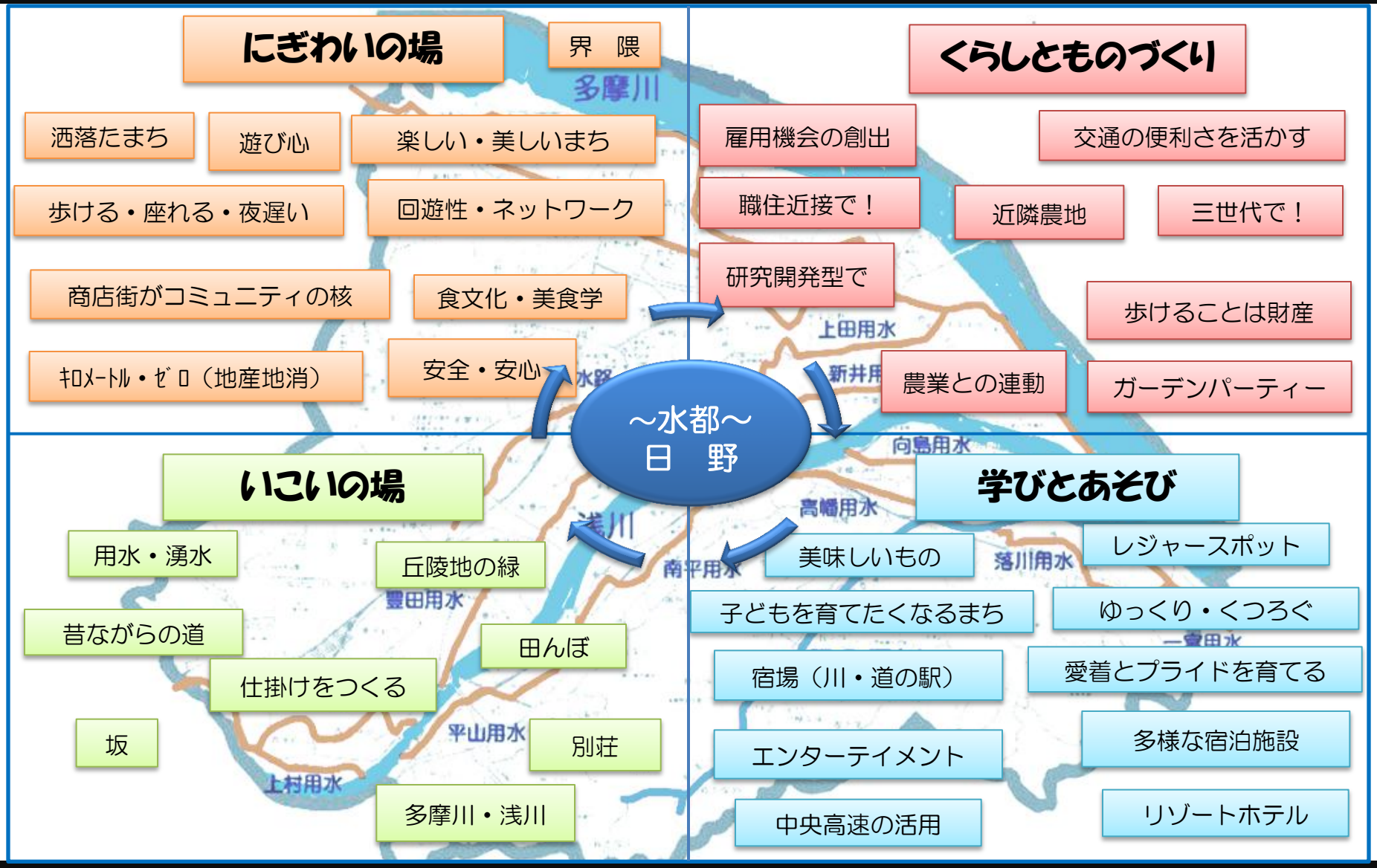
Hino Vision 50

Hino Mandala

ヒ　ノ　マ　ン　ダ　ラ

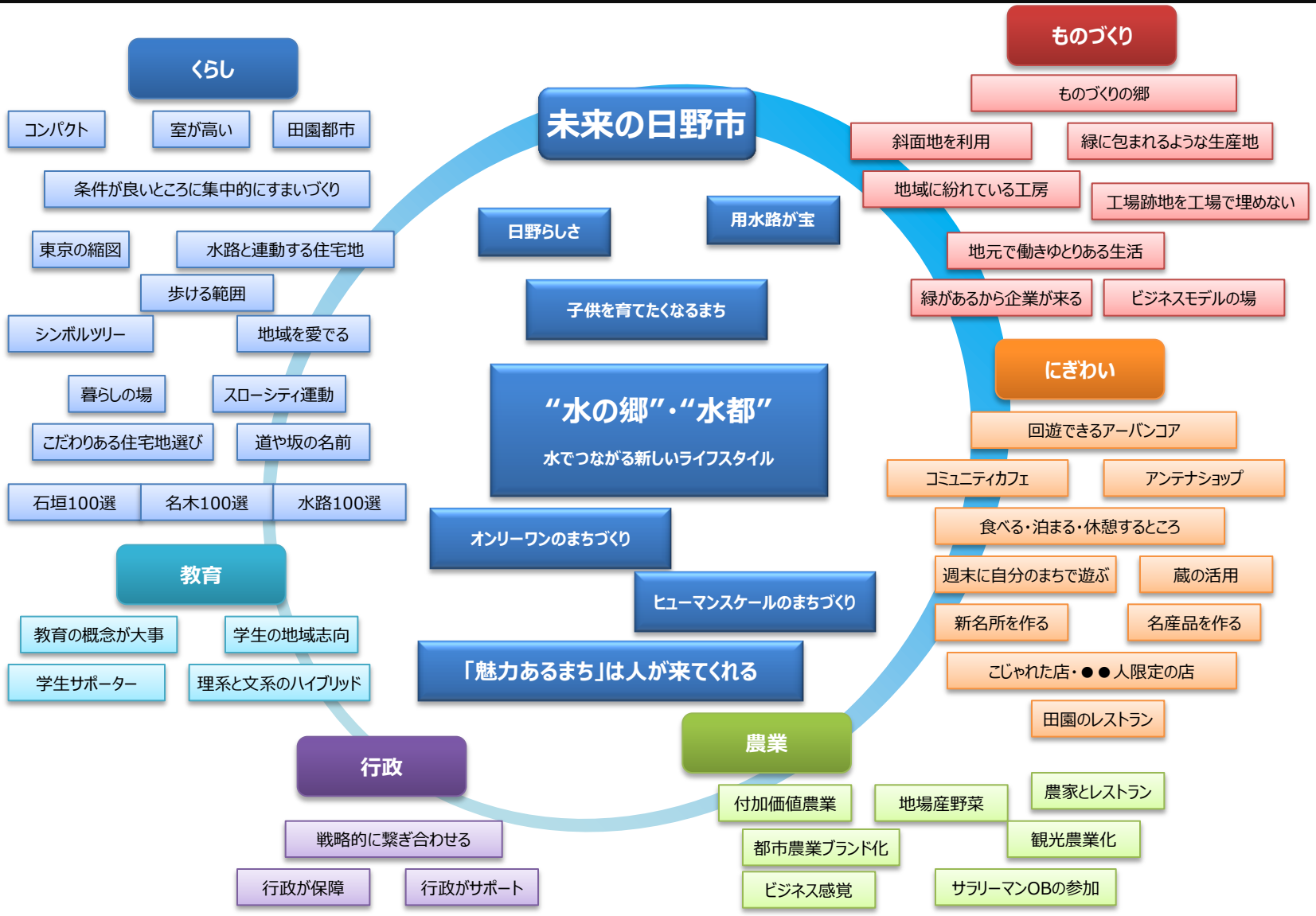
コンセプト

Hino Vision 50 -Hino Mandala-



日野市の方のキーワードをもとに、エコ研メンバーで議論し、イメージを膨らませていった。

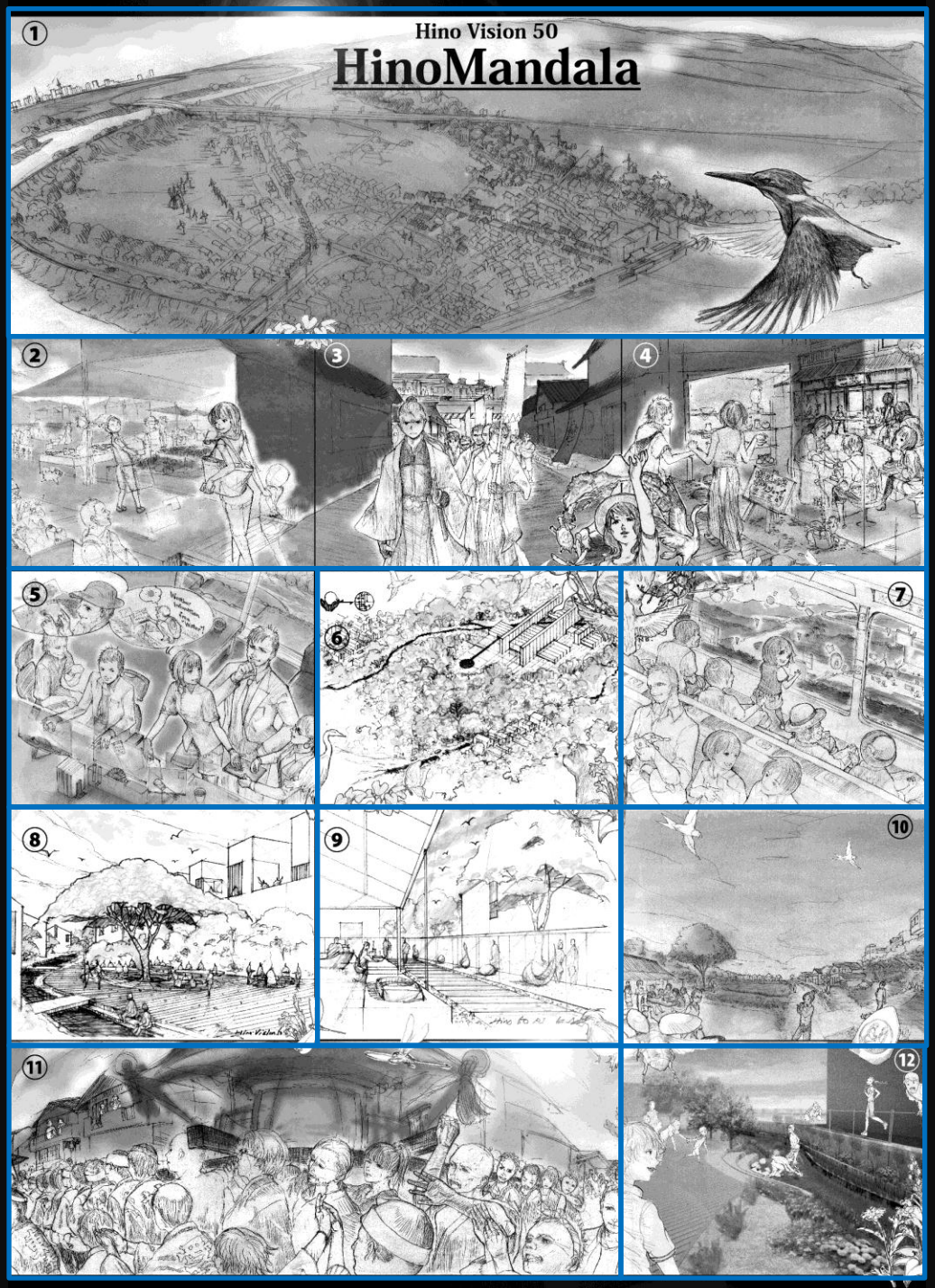
Hino Vision 50 -Hino Mandala-



整理された各分野のキーワードを散りばめたイメージをHino Mandalaとして配置する。

Hino Vision 50

HinoMandala



Hino Vision 50　-Hino Mandala/Hino Layer-

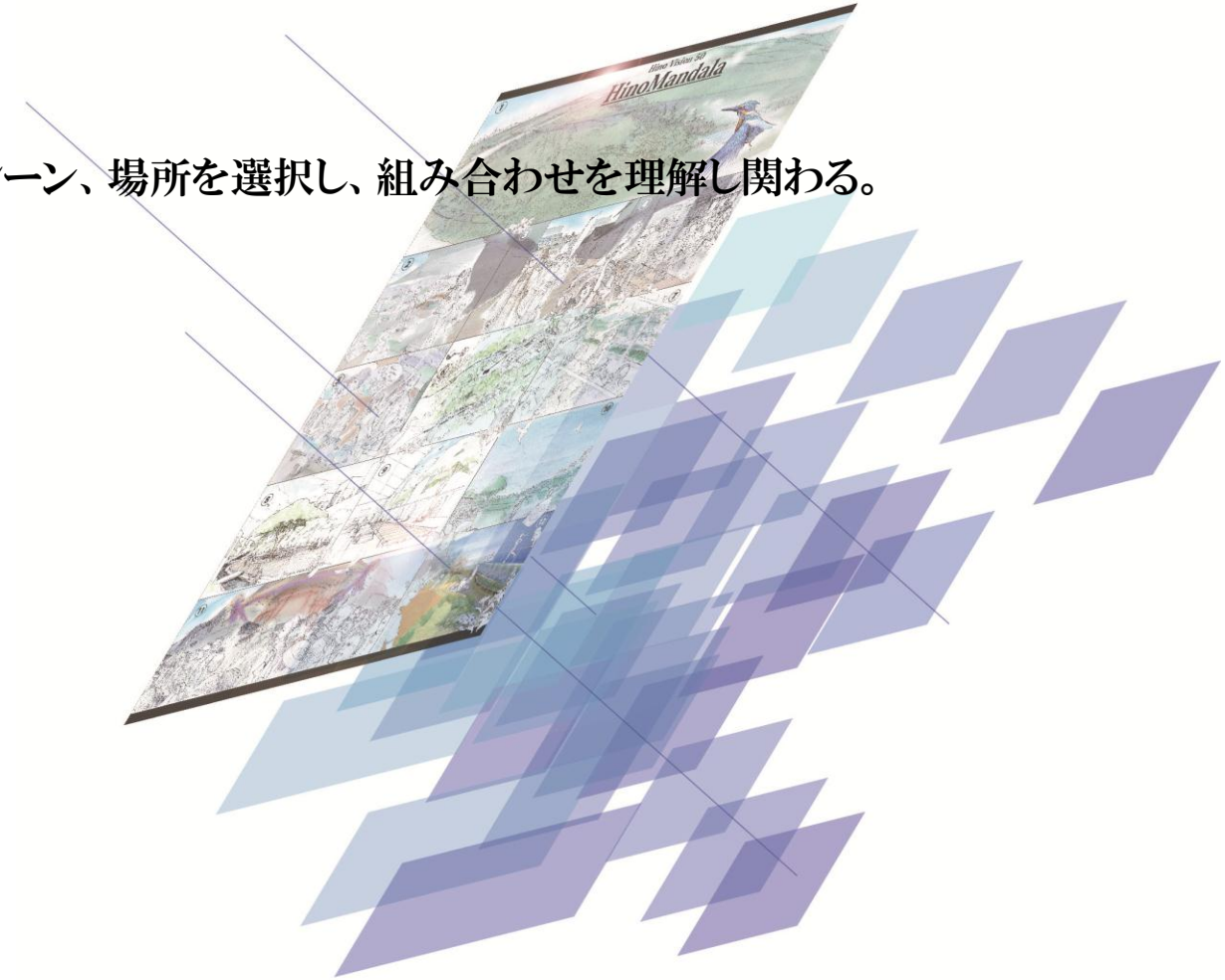
Hino MandalaにはHino Layerという歴史の深層が存在する。

様々な意味、特徴のある要素、場面からなっている。

全体がつながって一つのまとまった世界を構成している。

日野そのもの。

一人一人の市民が、多様なシーン、場所を選択し、組み合わせを理解し関わる。



大地の上に生き続けている歴史の層（日野の宝）と各層の光る核

H層ー将来像
（多くの核が蛍の光のようにシンクロする）

G層ー研究・教育
（各種研究所・実践女子大・明星大学・首都大学東京・・・）

F層ー業
（日野自動車・エプソン・GEヘルスケアジャパン・富士電機・帝人・千代田運輸・各種工房／アトリエ・各種商業・２次～産業・・・）

E層ー施設
（ふれあいホール・ファーマーズセンター・日野煉瓦ホール・ふれあい橋・・・）

D層ーまつり・観光
（新選組まつり・よさこいまつり・たきびまつり・たかはたもみじ灯路・平山季重まつり・産業まつり・アートフェスティバル・さくらのつどい、ルート・エコツーリズム・・・）

C層ー歴史
（高幡不動尊・石田寺・一里塚・日野宿本陣・新撰組のふるさと歴史館・佐藤彦五郎新撰組資料館・井上源三郎記念館・藤蔵・勝五郎生まれ変わり・百草園・多摩動物公園・・・）

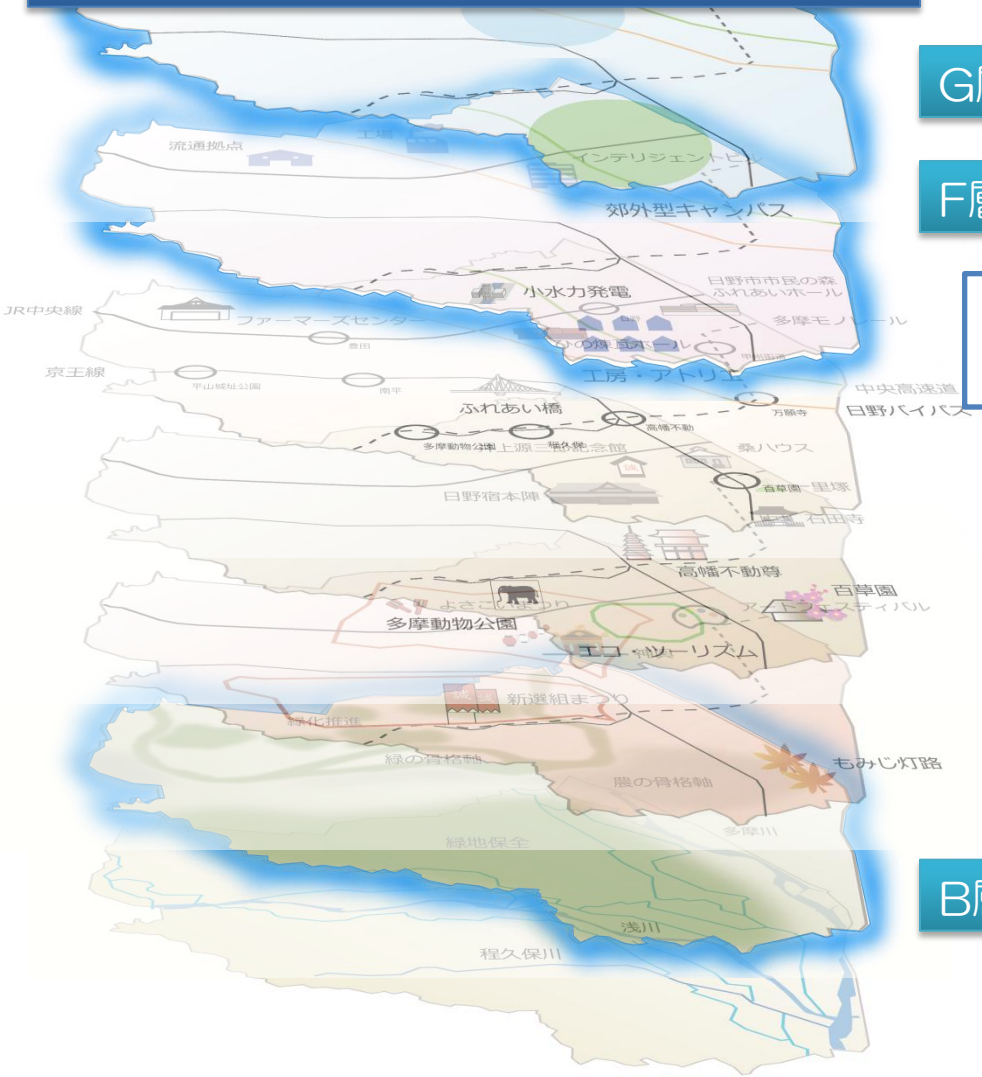
B層ー緑・農
（樹林・農地・水田／なし・トマト・ブドウ・柿・百草倉沢の里山・せせらぎ農園・JA東京みなみ・・・）

A層ー大地・水の形態
（台地・多摩川・浅川・程久保川・各湧水・各用水路）

Hino Vision 50　-Hino Layer-

大地の上に生き続けている歴史の層（日野の宝）
各層は有機的に重なり合い、要素が結びつき合って光を発する。めぐる、つなぐことから未来の宝が創造される。

H層ー将来像
（多くの核が蛍の光のようにシンクロする）



G層ー研究・教育

最先端研究・開発

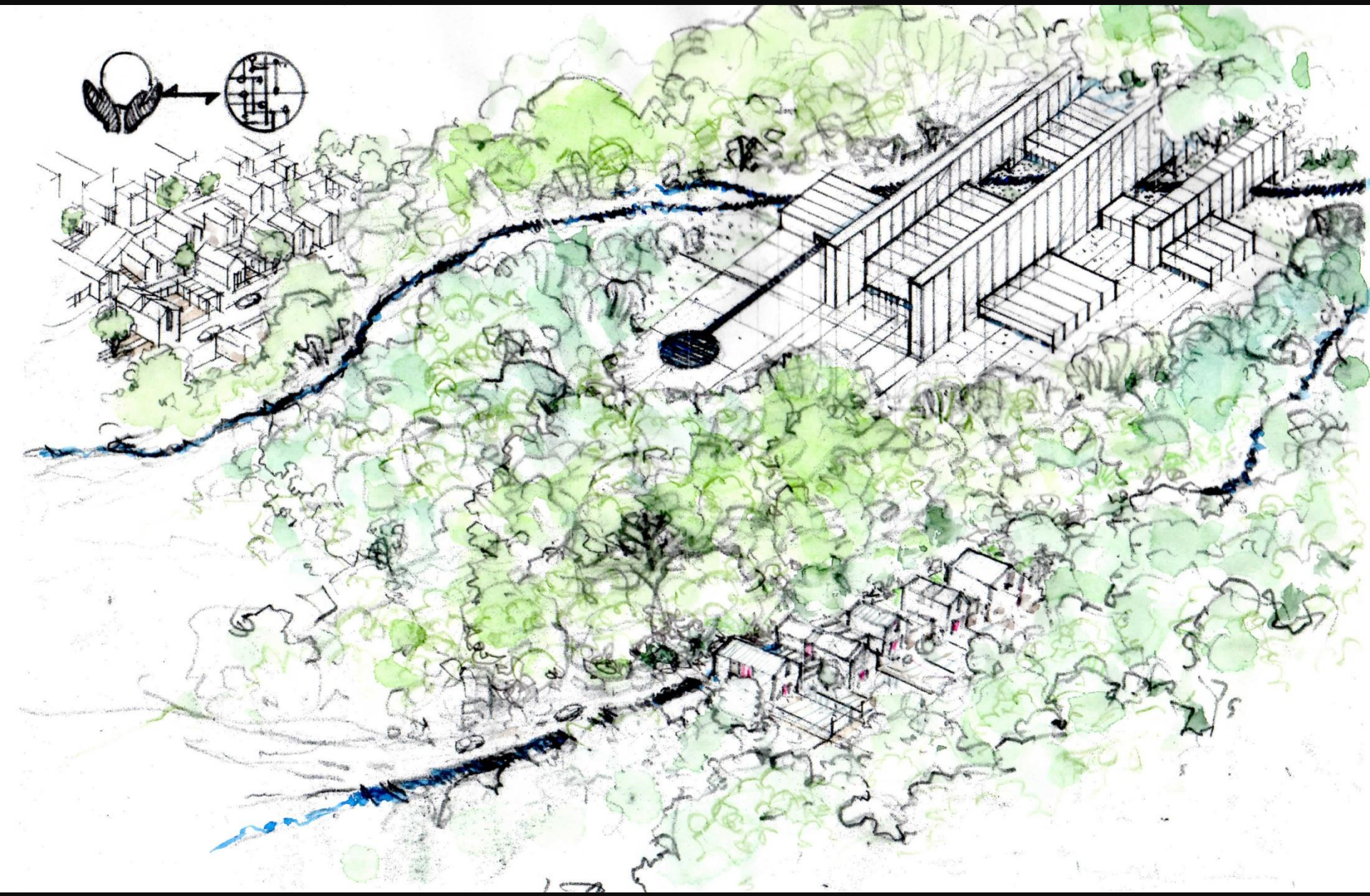
F層ー業

企業との連携

B層ー緑・農

農・緑の環境

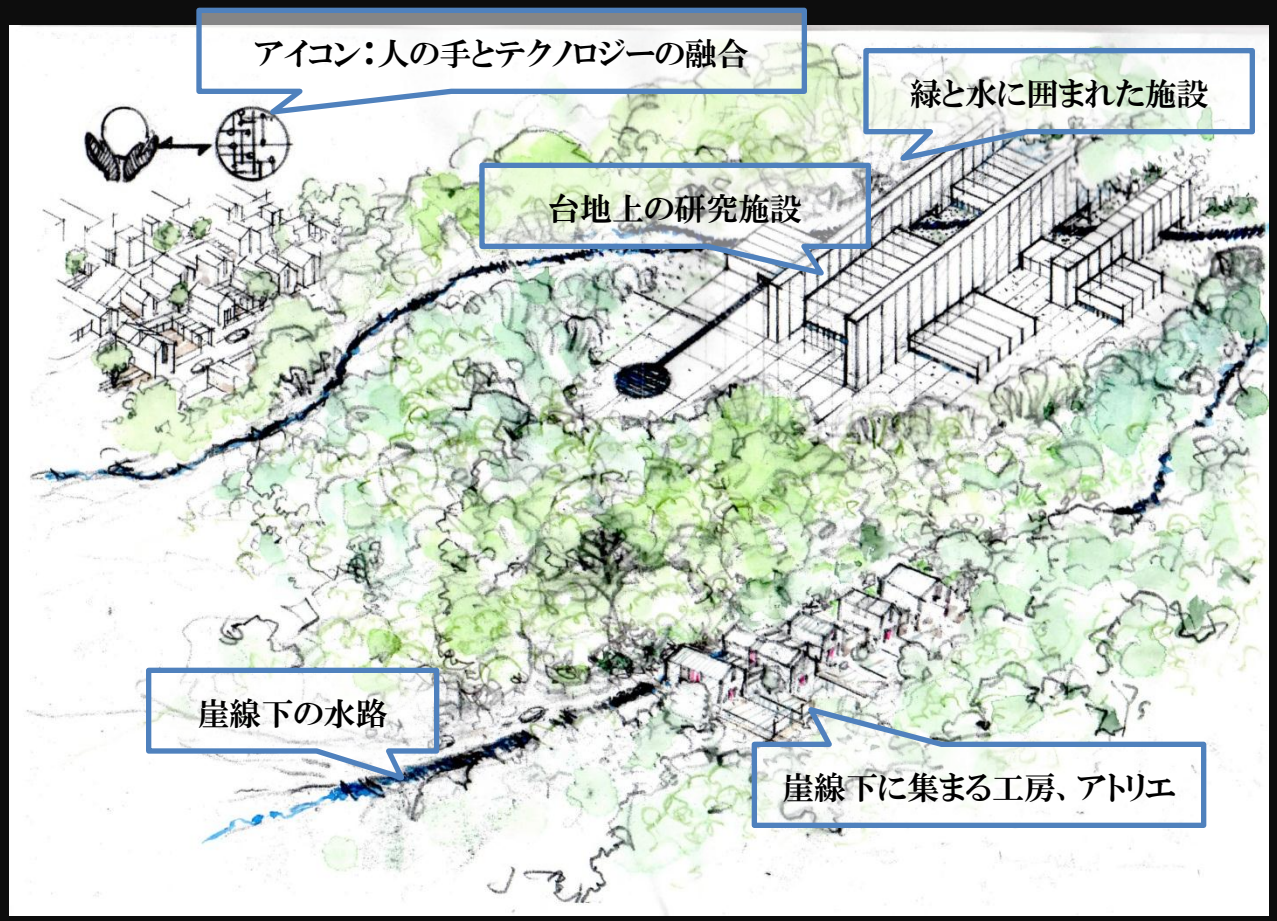
Hino Vision 50 -Hino Mandala/ものづくりの郷、テクノタウンから工房まで-



水と緑豊かなハイテクパーク。クリエイティブインダストリーと研究所。可変構造をもつ。

Hino Vision 50 -Hino Mandala/ものづくりの郷、テクノタウンから工房まで-

・光る中小企業数百社のネットワークしながらの集合と点在。シナプス。
・育つ起業家精神
・ベッドタウンから経済的に自立したまちへ
・職住近接のゆとりあるくらしへ
・雇用の機会の創出
・ビジネスモデルの創造
・緑が来るから企業が来る。緑に包まるような生産地
・地域に紛れている工房
・地場産業、六次産業

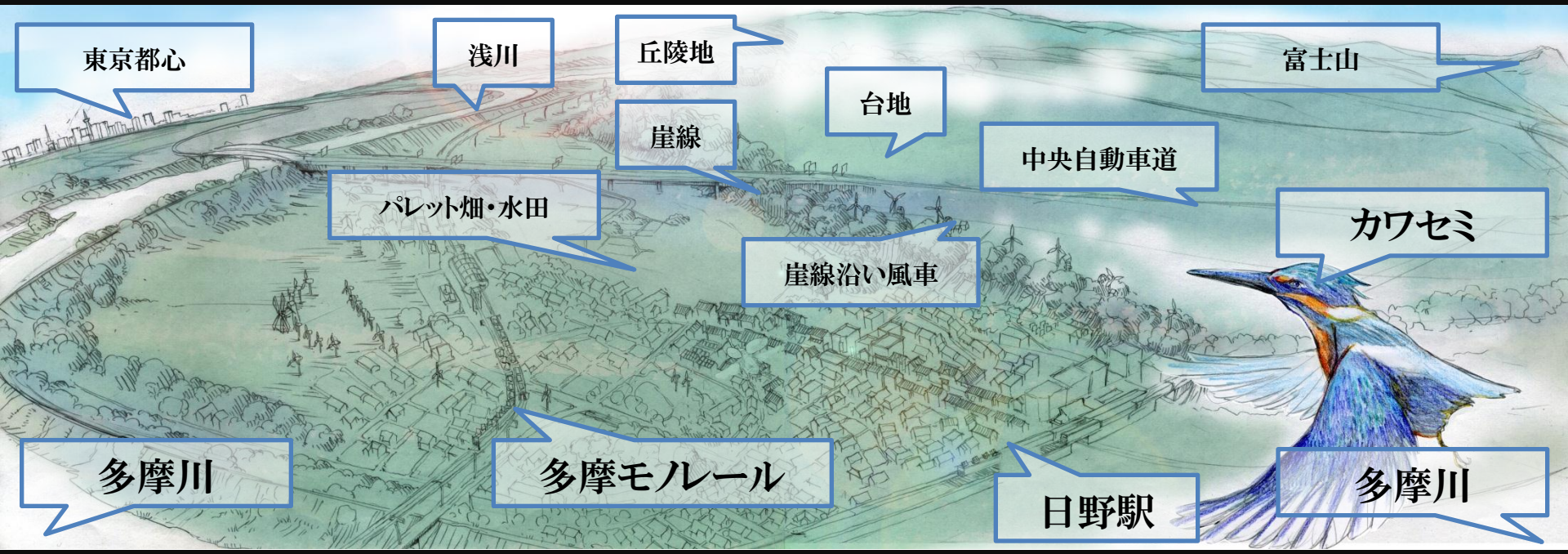


Hino Vision 50 -Hino Mandala/日野俯瞰図-

地平線を見渡す鳥の視点と多角的な魚、虫の視点を併せ持ち、今回の日野を見渡す。

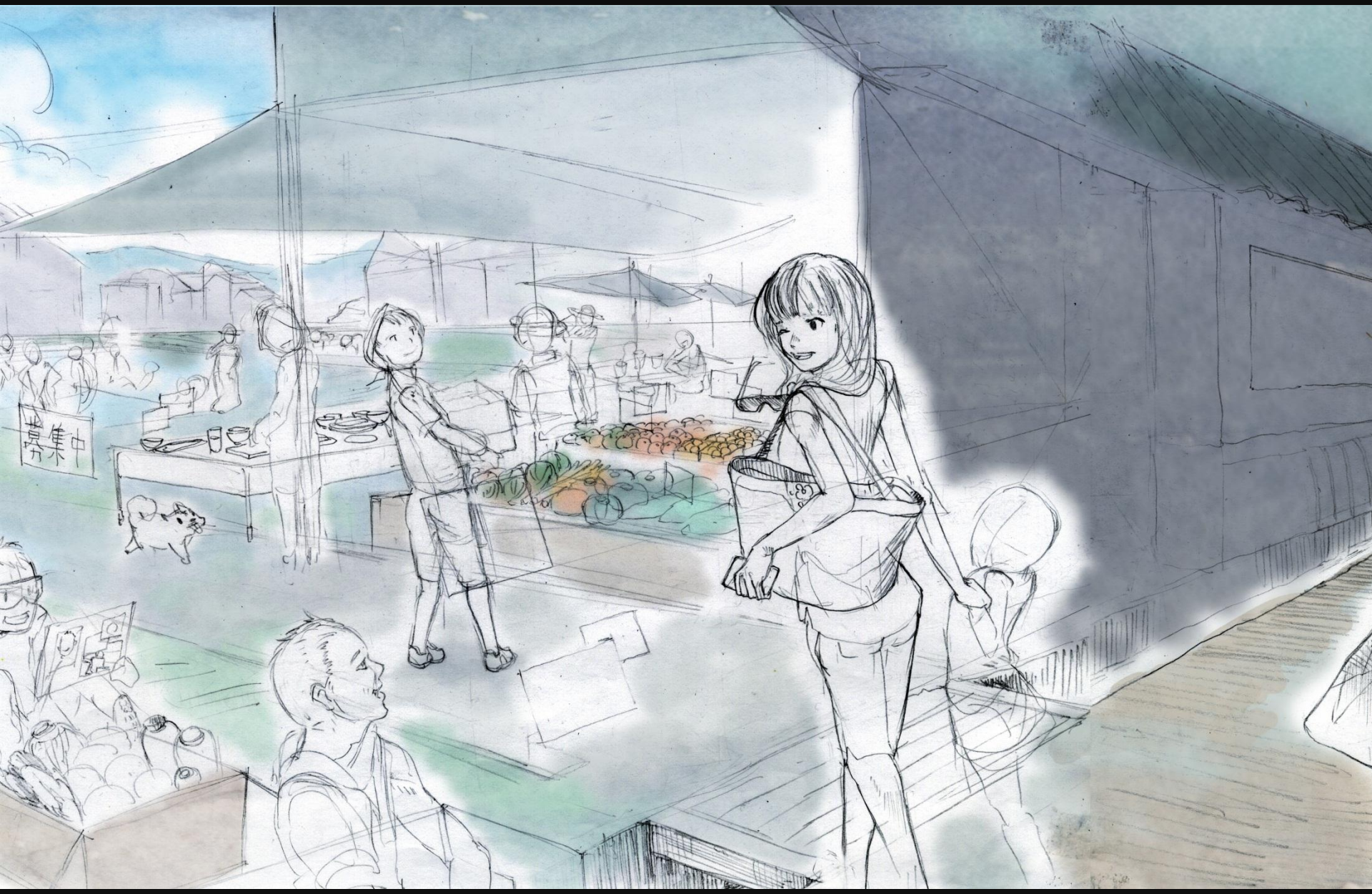
Hino Vision 50 -Hino Mandala/日野俯瞰図-

・50年後の日野の全体を見渡す絵。
・東京都心と富士山を同時に見据える。
・人の集まる都心と雄大な自然の境界に位置する日野。ハイブリッドな特性をも持つまち。
・世界を見渡す鳥の視点、多角的な虫の視点、魚眼視点等様々な視点、視野から日野を見る。



カワセミの視点：人がいつの時代も目指し続けてきた俯瞰の視点。どこまでも広がる地平線。広角レンズ。グローバリゼーション。
アユの視点：従来の視点と異なるモノの見方。魚眼レンズ。一見くっつかないモノを繋げる視点。張り巡らされた水路からの視点。ローカリゼーション。

Hino Vision 50 -Hino Mandala/街道のまち日野-



日野は古来より街道のまちだった。

Hino Vision 50 -Hino Mandala/街道のまち日野-

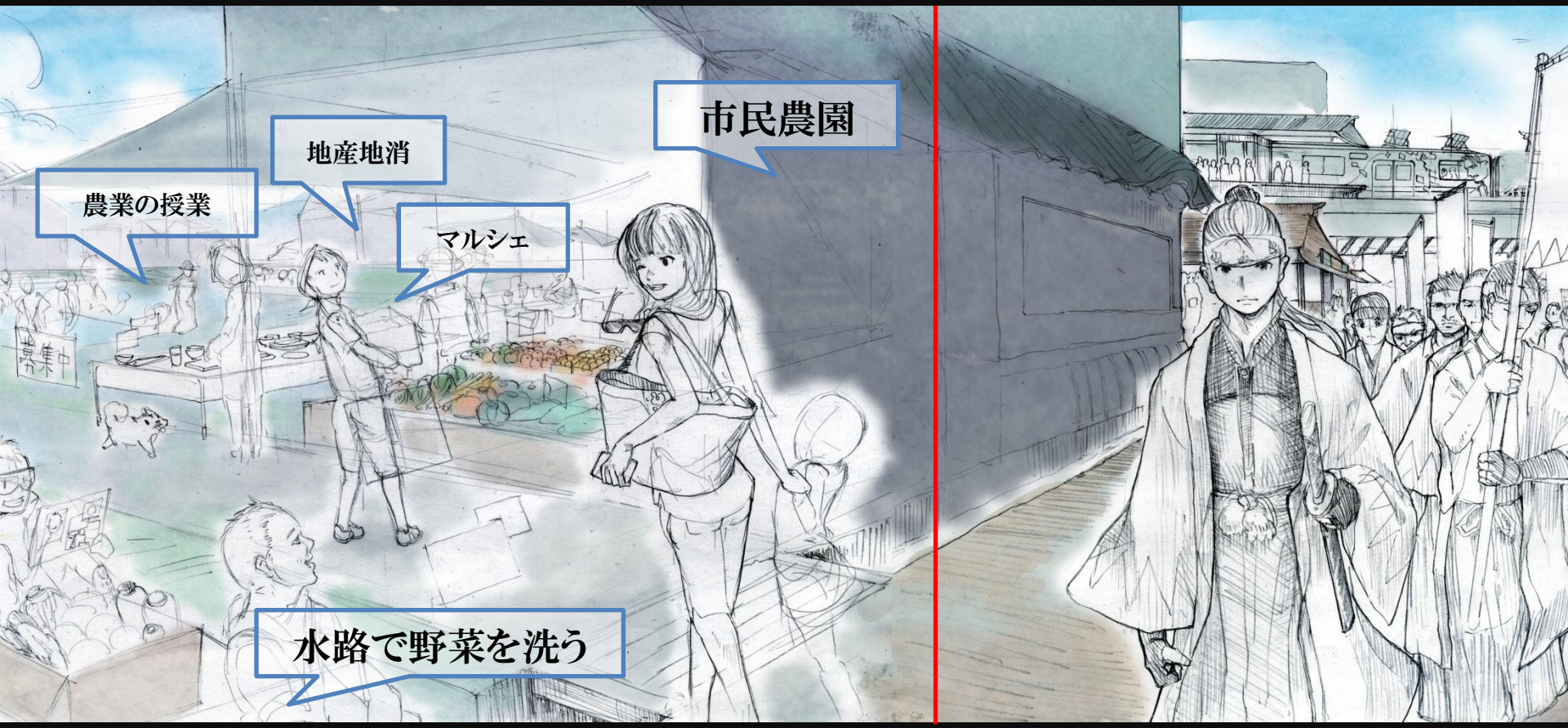
現在でもなお上堰、下堰の水路に挟まれ、古くから多くの人の往来を見守ってきた日野宿は、歴史的、文化的、地理的視点から見て日野の生命線といっても過言ではない。この連絵では同じ場所で3つの異なる時間が同時に流れている。

街道のまち日野は以下の三つのシーンから成り立っている。

- (左)「日野に広がる農地と繋がったマルシェの界隈」
- (中)「日野の歴史的中核となる日野宿」
- (右)「裏路地のオシャレな雑貨屋さん」

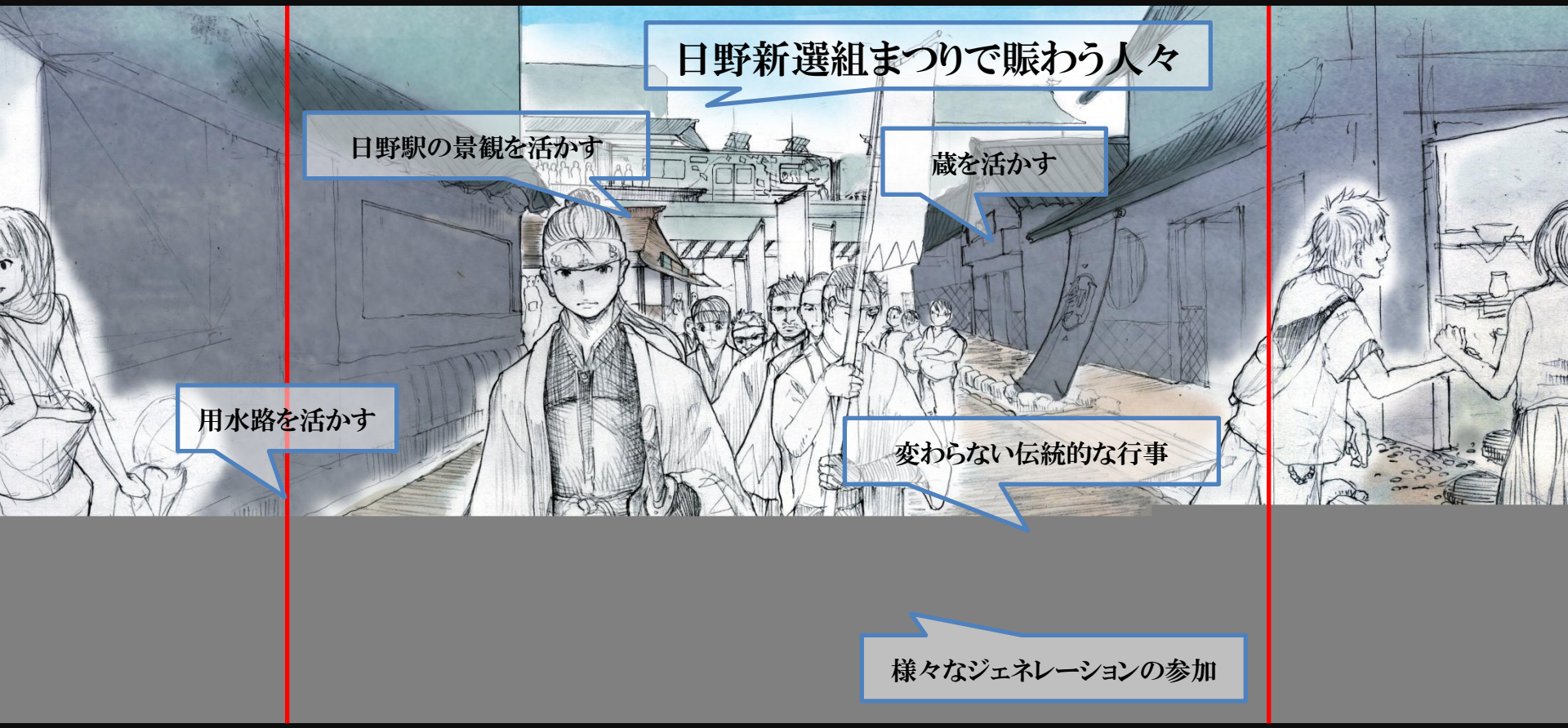
- ヒューマンスケール、人が主役のまち。
- 回遊性のある駅周辺～仲田の森へ。
- 歴史的な資産(目に見えないモノも含む。敷地割、本陣、路地、蔵、用水路、旧原宿駅から移築した駅舎)等を活かす
- 宿場町が持ったもてなし感覚と交流の場の再生

Hino Vision 50 -Hino Mandala/日野に広がる農地と繋がったマルシェの界隈-



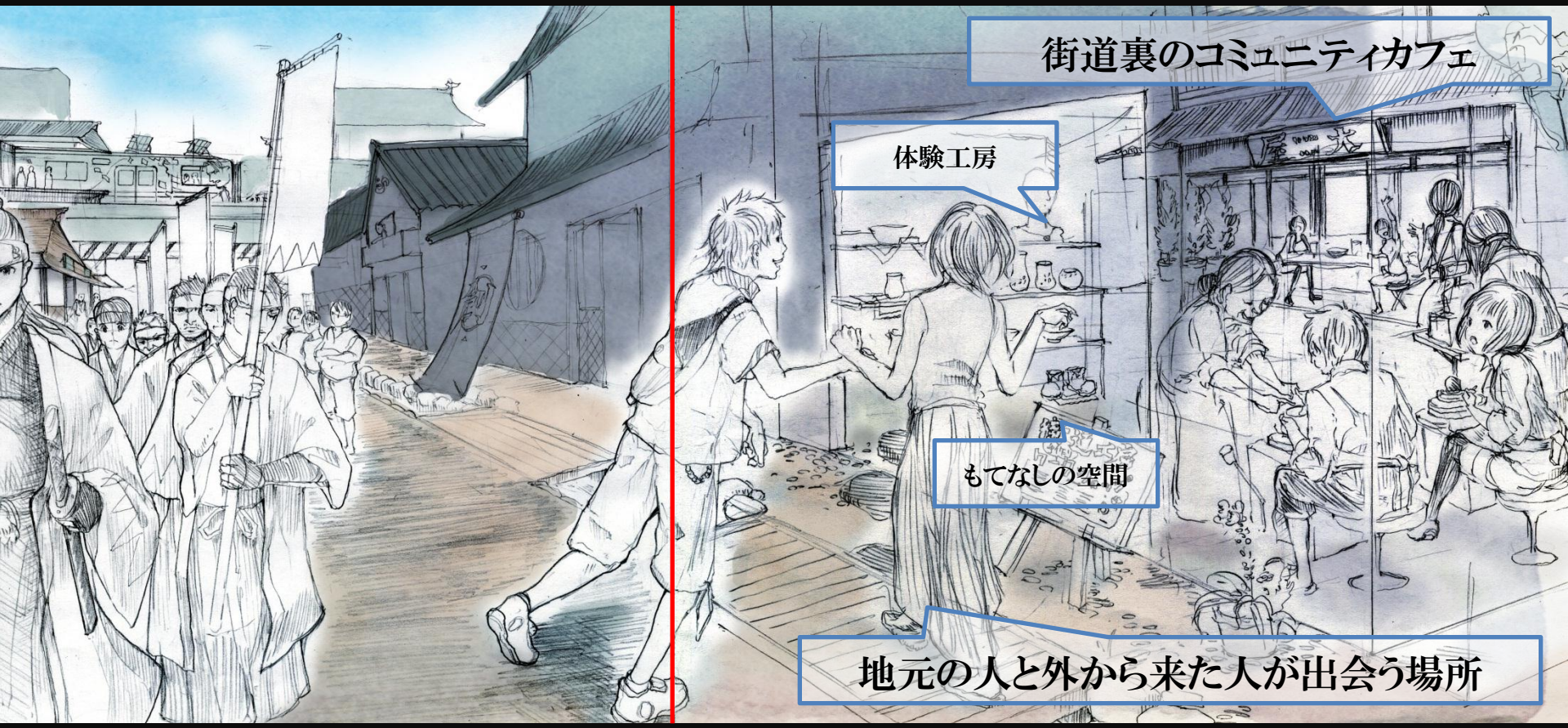
・日野に広がる農地と繋がったマルシェの界隈。
・農に対するビジネス感覚
・しゃれたスローシティ感覚をもつ交流の場、地域に腹かれたサロン、農とマチが出会う文化発信の場
　コミュニティ・レストラン、コミュニティ・カフェ、アンテナ・ショップ等。

Hino Vision 50 -Hino Mandala/日野の歴史的中核となる日野宿-



- 様々イベントが行われる場所へ
- 歴史的な資産（目に見えないモノも含む。敷地割、本陣、路地、蔵、用水路、旧原宿駅から移築した駅舎）等を活かす
- 回遊できるアーバンコア
- 学生、サラリーマンOB、主婦さまざまなジェネレーションの参加

Hino Vision 50 -Hino Mandala/裏路地のオシャレな雑貨屋さん-



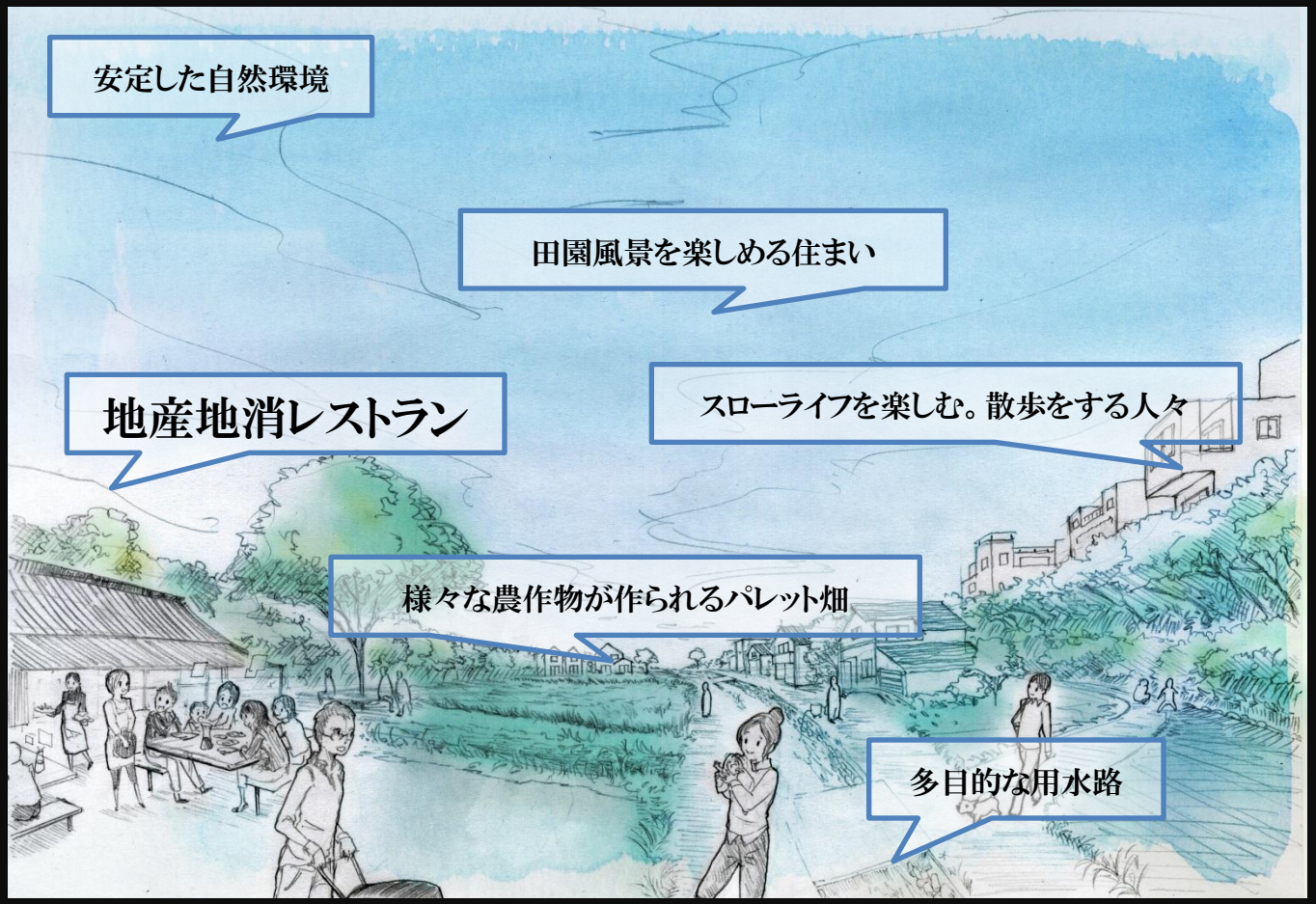
・高層ビルではなく質・密度の高いサロンのようなコミュニティレストラン、コミュニティカフェ、アンテナショップ等。
・歴史的な資産（目に見えないモノも含む。敷地割、本陣、路地、蔵、用水路、旧原宿駅から移築した駅舎）等を活かす
・名産品を作る
・新名所をつくる
・こじゃれた○○人限定のお店

Hino Vision 50 -Hino Mandala/大地と水の恵み -住み続けられる水の郷-

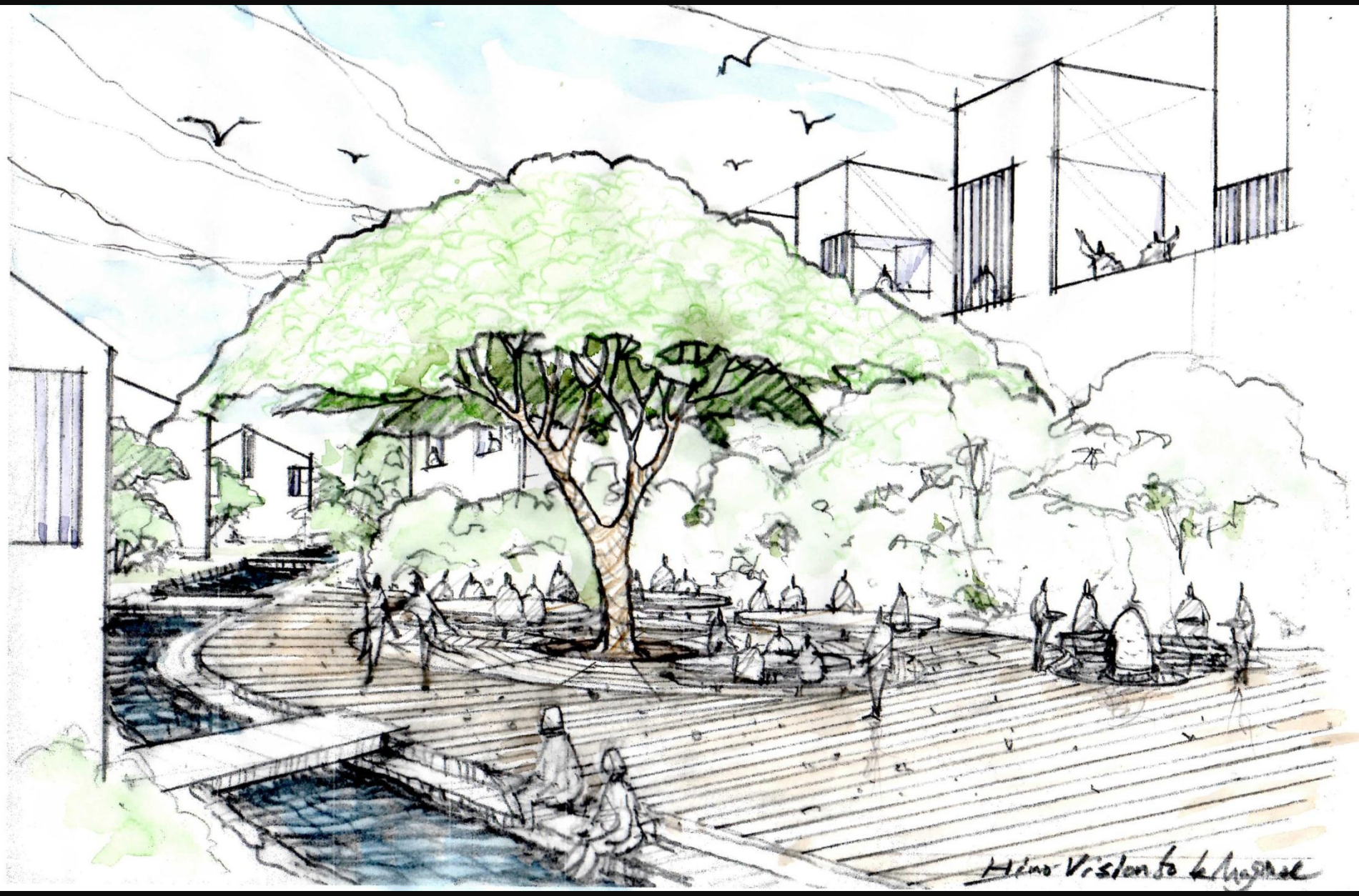
農業が再び地域の主役に。農家+市民が守る農地と農ある風景。体験農業・市民農園を超えて

Hino Vision 50 -Hino Mandala/大地と水の恵み -住み続けられる水の郷-

・50年後、新しい価値を持って守られている農地
・農地の近くの地産地消レストラン
・スローライフを楽しむ人々
・多様な意味・目的を持つ農地と用水路
（農業、環境的価値、気候の安定、生物多様性、景観、福祉、教育、遊び、防災、エネルギー等）
・自立性の高い（食料自給率、経済的自立）豊かな地域を支える安定した自然環境
・自然の恵みに魅かれて住む人々
・農家+市民によるコモンズとして守られる農地・用水路、コミュニティガーデン
・オープンガーデン（個人の庭の開放）



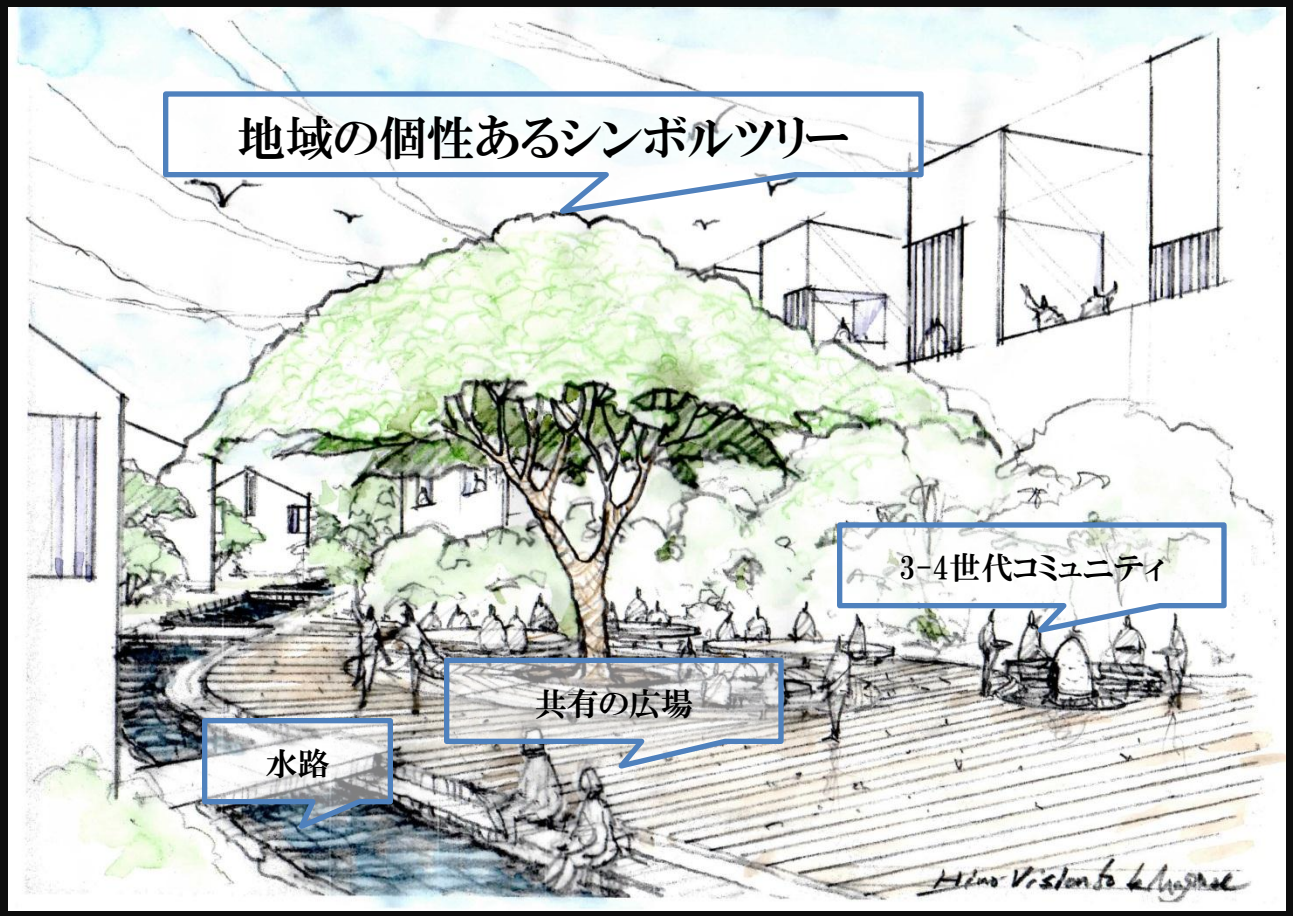
Hino Vision 50 -Hino Mandala/地域ごとの個性的なコミュニティ-



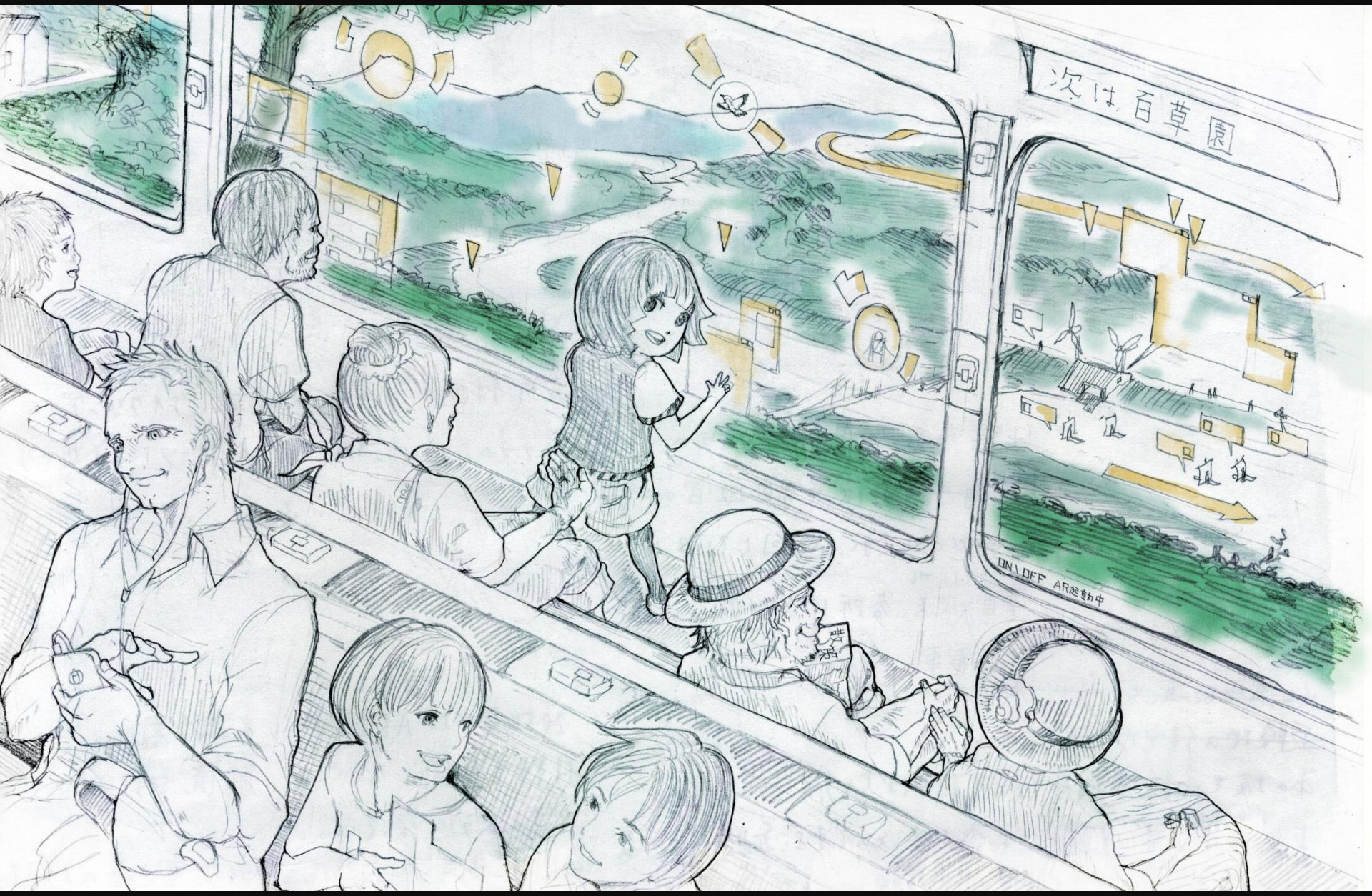
地域ごとにそれぞれの物語、世代を繋ぐコミュニティ。

Hino Vision 50 -Hino Mandala/地域ごとの個性的なコミュニティ-

・地域ごとにそれぞれの物語、世代を繋ぐコミュニティ
・共有財産としてのシンボル（樹木、文化財、場所）
・共有の広場
・子供の遊び場
・日常的に行われるイベント



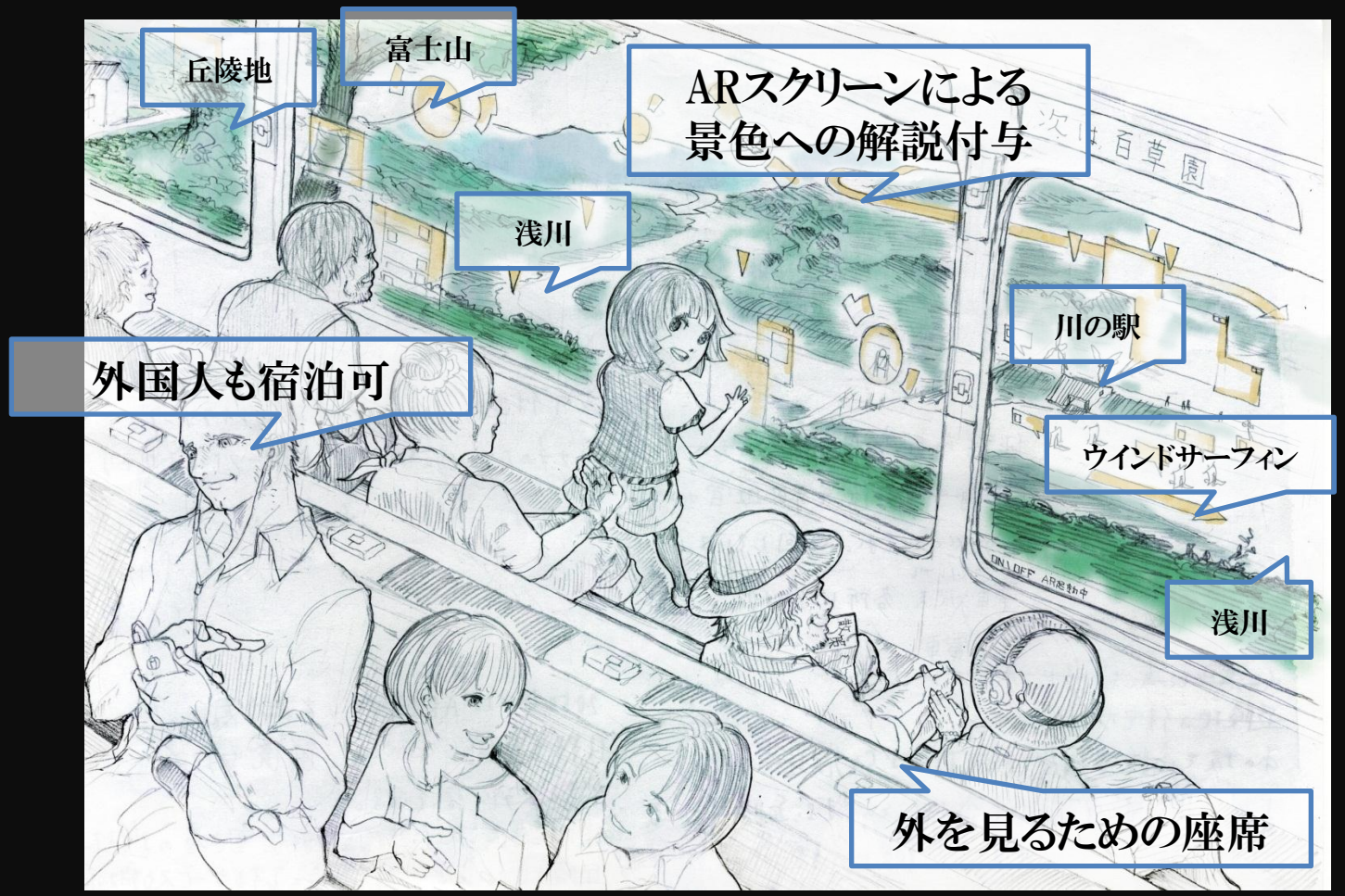
Hino Vision 50 -Hino Mandala/日野を見渡す丘陵地での生活-



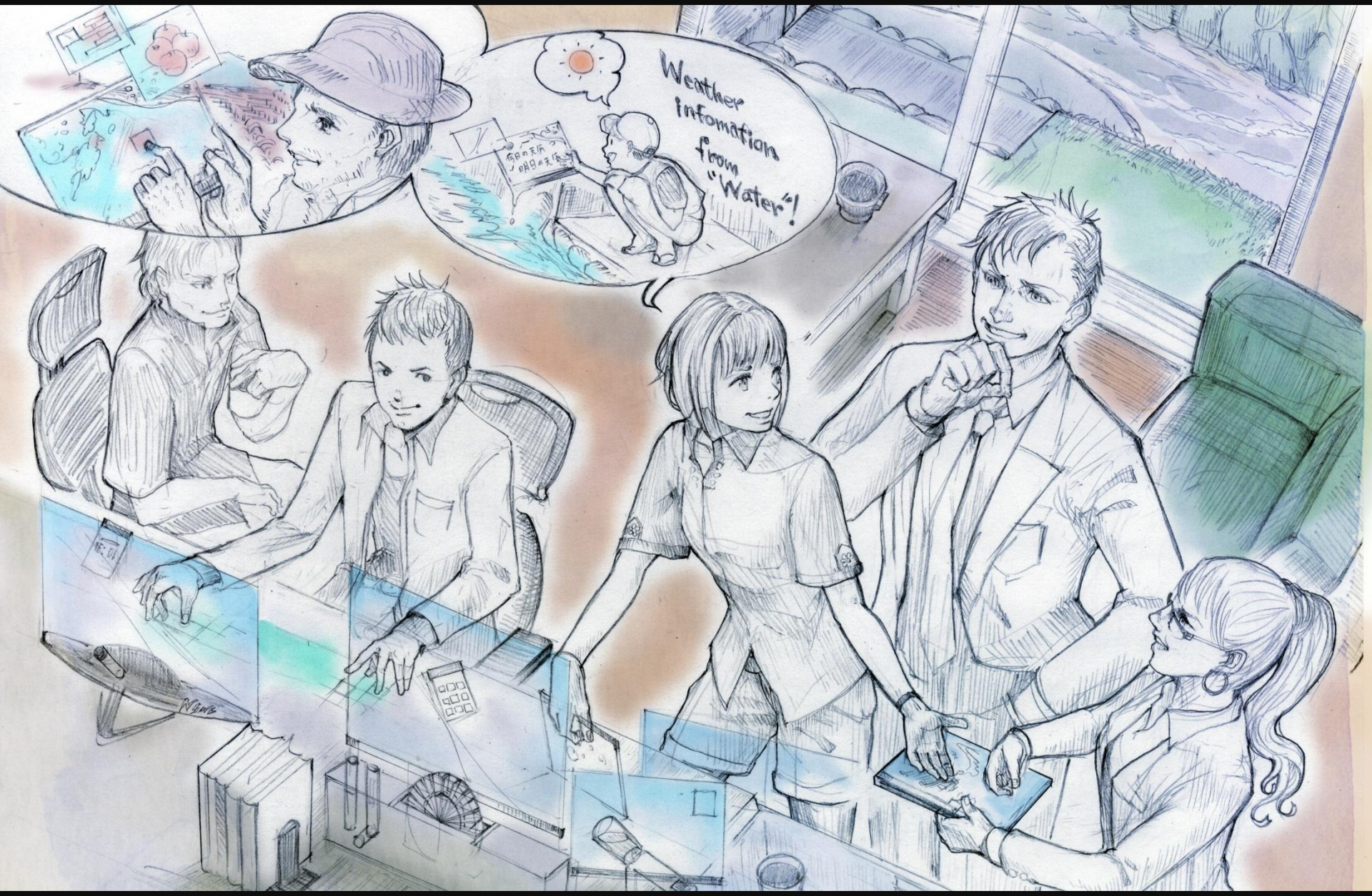
丘陵の新しい交通手段による、日野の新たな楽しみ方。エコツーリズム。

Hino Vision 50 -Hino Mandala/日野を見渡す丘陵地での生活-

- より季節の移り変わりを感じることのできる丘陵地に
- 日野を周遊できるような巡回バスが誕生した。
- AR(Augmented Rearity：拡張現実)技術による日野の一望風景に付加されたデジタル情報
- 新しい丘陵地での楽しみ方
- (空き家の増えた)丘陵の住宅群をリーズナブルにシェアするサービス
- 豊かな環境と観光拠点としての外国人の往来



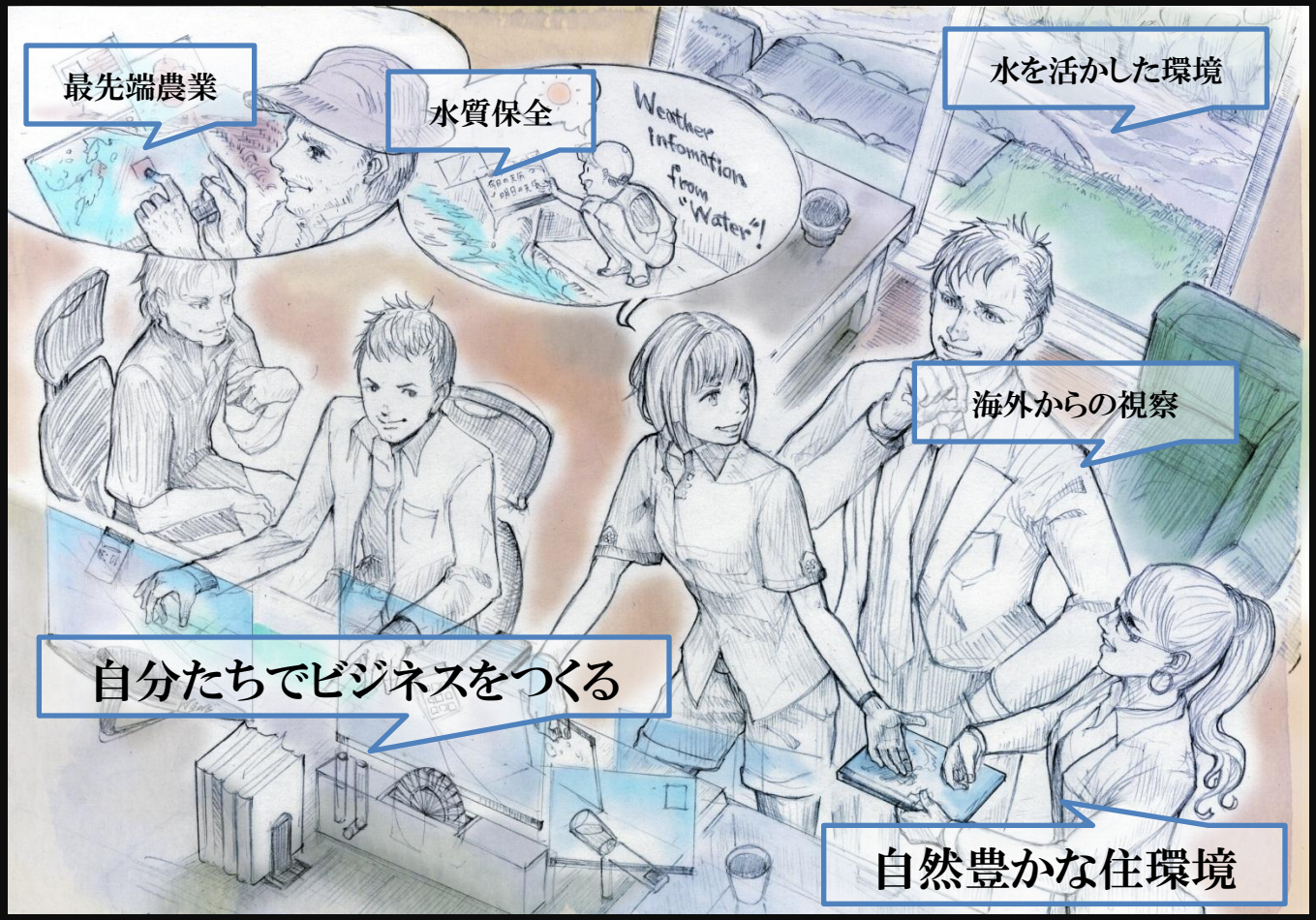
Hino Vision 50 -Hino Mandala/日野の新産業-



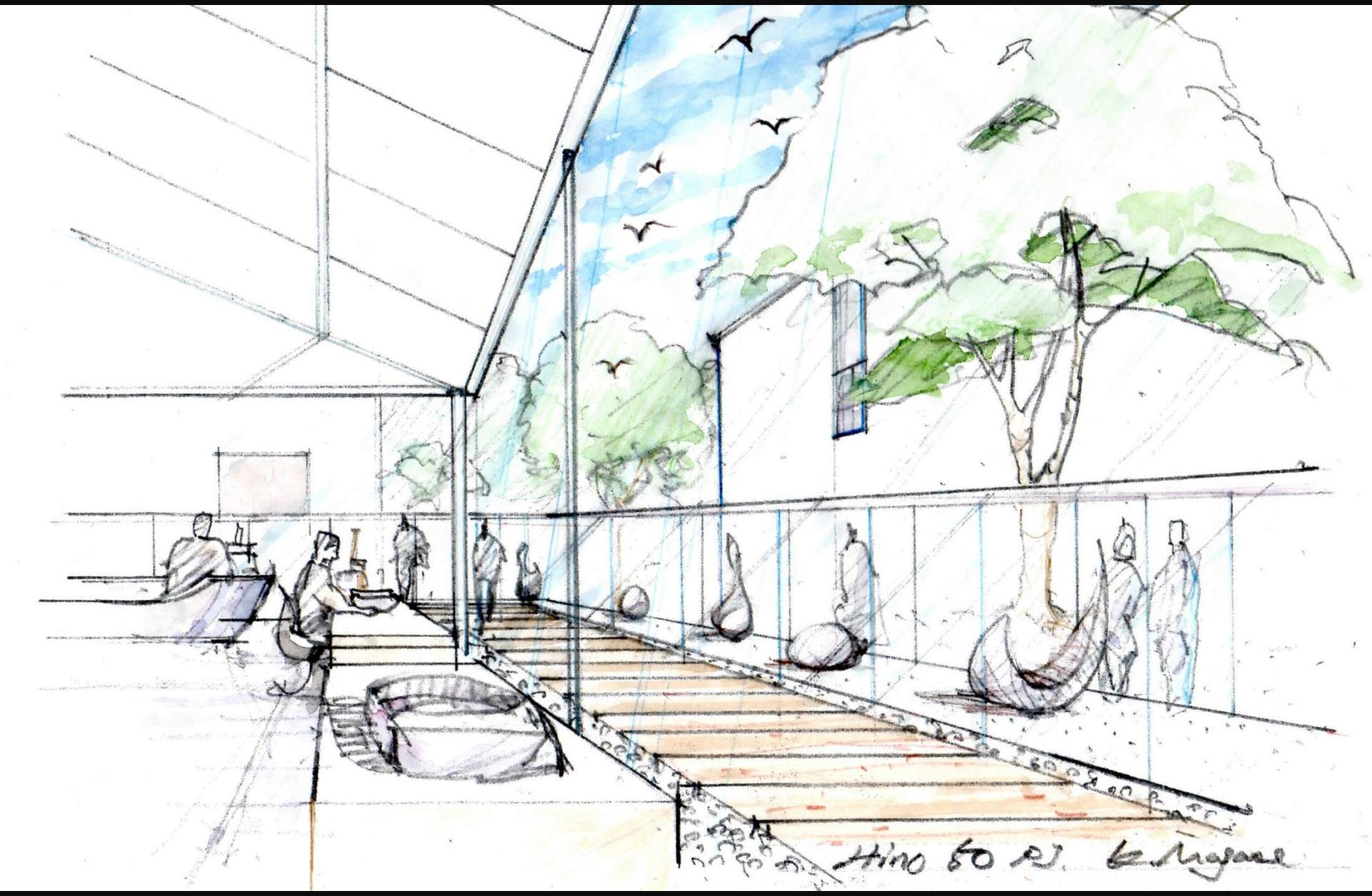
自動車、精密機器に続く次世代テクノロジーの創出の場

Hino Vision 50 -Hino Mandala/日野の新産業-

・自宅のような身近な場所で始めるテクノロジー、ITビジネス
・豊かな住宅環境の中で働く
・水を活かした次世代テクノロジー
・最新技術を使ったスマートな農をつくる
・海外から注目されるような新しい組み合わせ

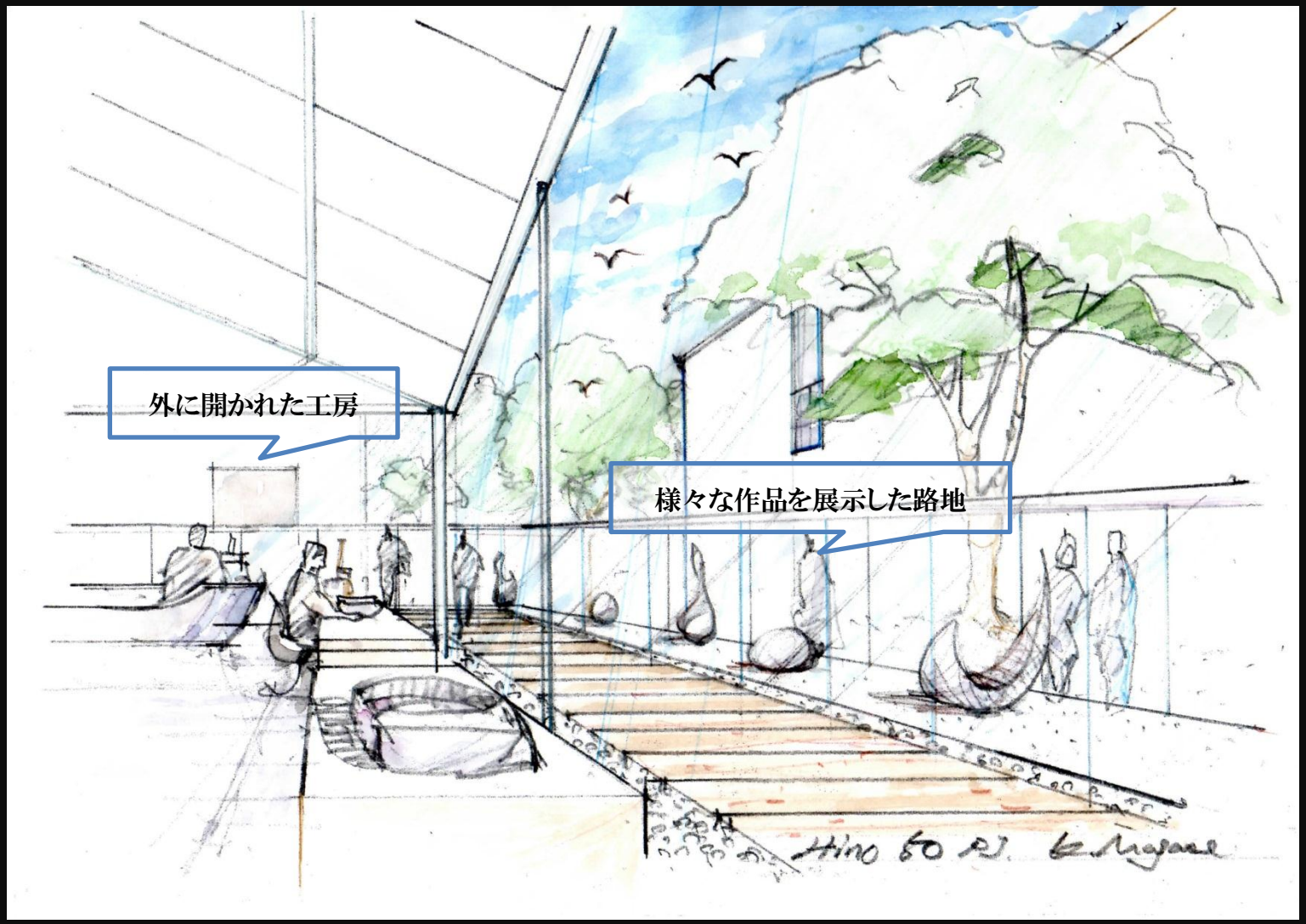


Hino Vision 50 -Hino Mandala/街中のショーウインドウ路地-



Hino Vision 50 -Hino Mandala/街中のショーウインドウ路地-

・路地を見る楽しみ
・作る楽しみ。開放された工房・アトリエへ。
・六次産業に見られる新しい産業



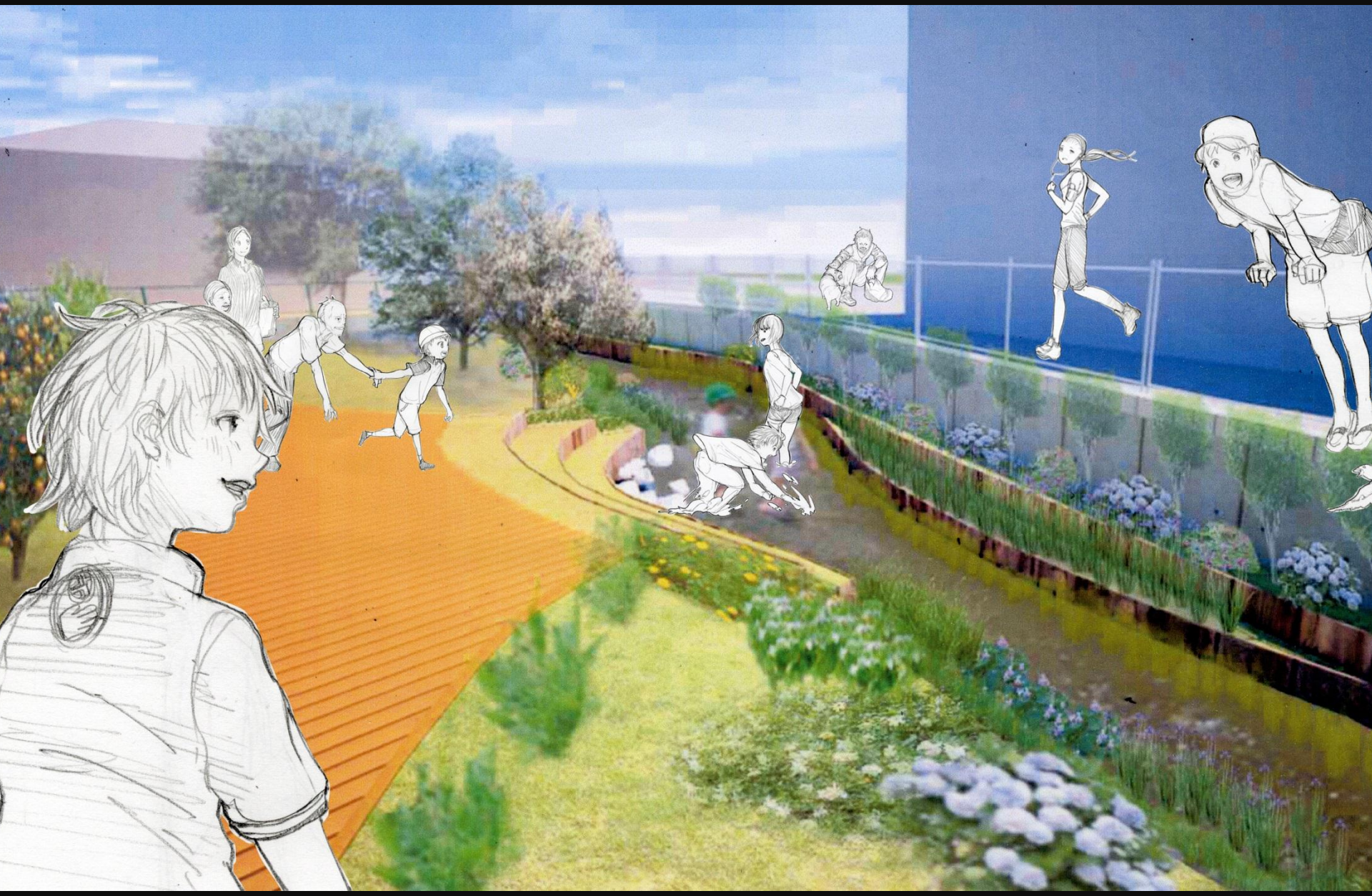
Hino Vision 50 -Hino Mandala/日野の祭り、日野の活気-

みんなが集まる時、みんが集まる場所

Hino Vision 50 -Hino Mandala/日野の祭り、日野の活気-

- 変わる行いと変わらないスピリット。
- 近現代の背景と伝統的な渡御が組み合わさる不思議な風景。
- それぞれ異なる地域の人同士が交わる機会、コミュニティが見える機会。
- 子供からお年寄りまで、日野中が盛り上がる
- いつのまにか参加者

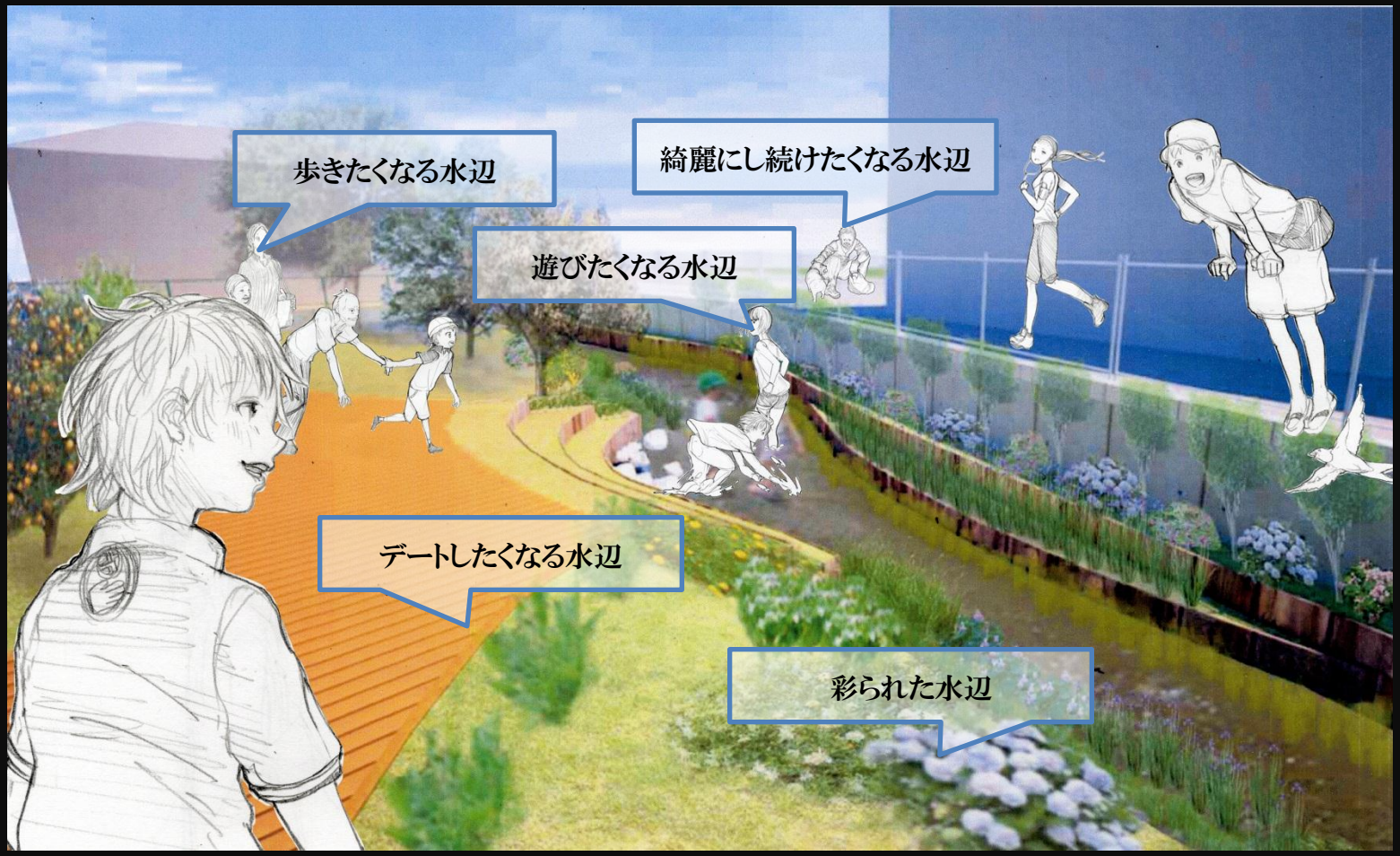
Hino Vision 50 -Hino Mandala/水と緑を繋ぐ、水辺を彩る植栽-

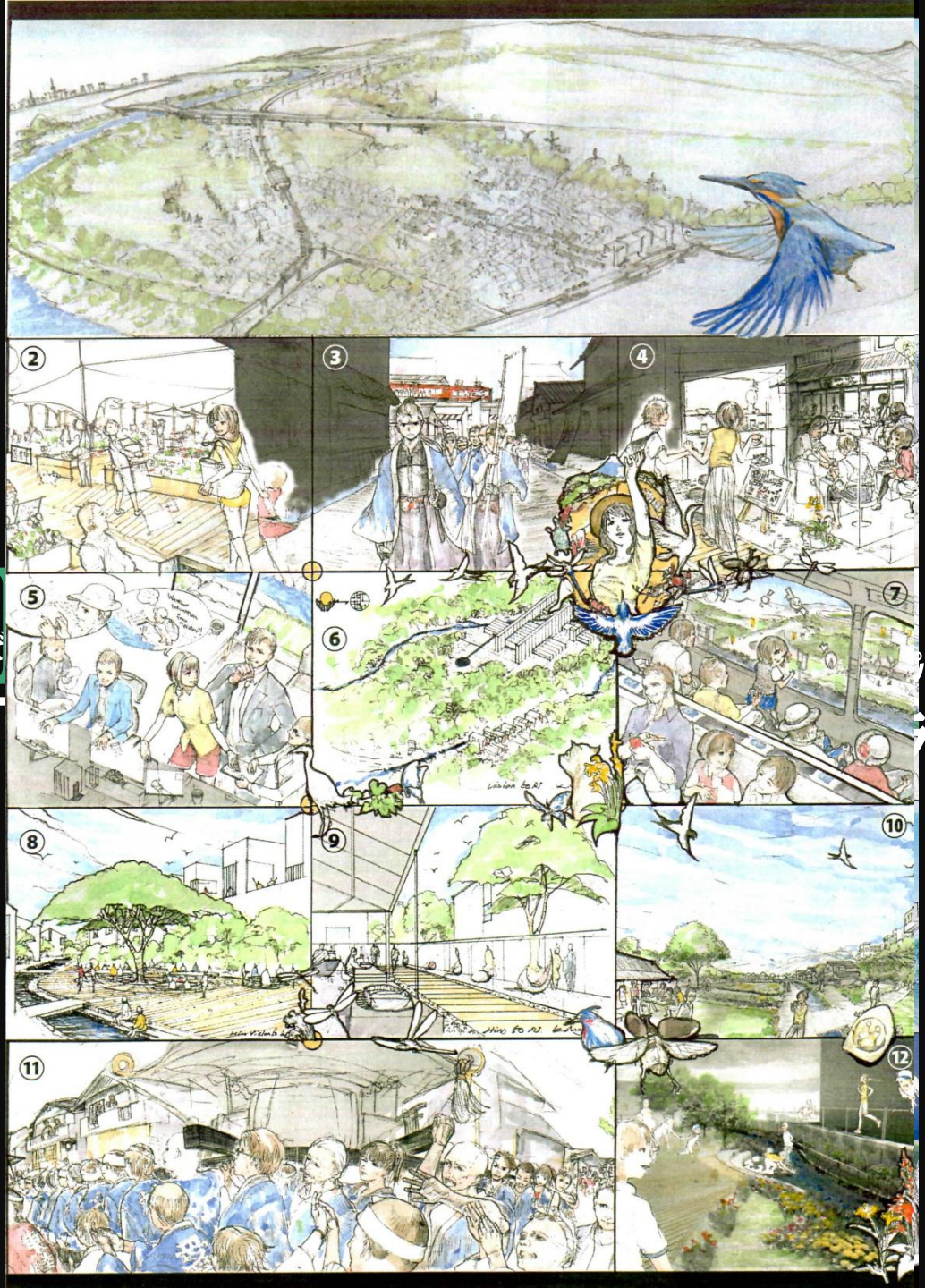


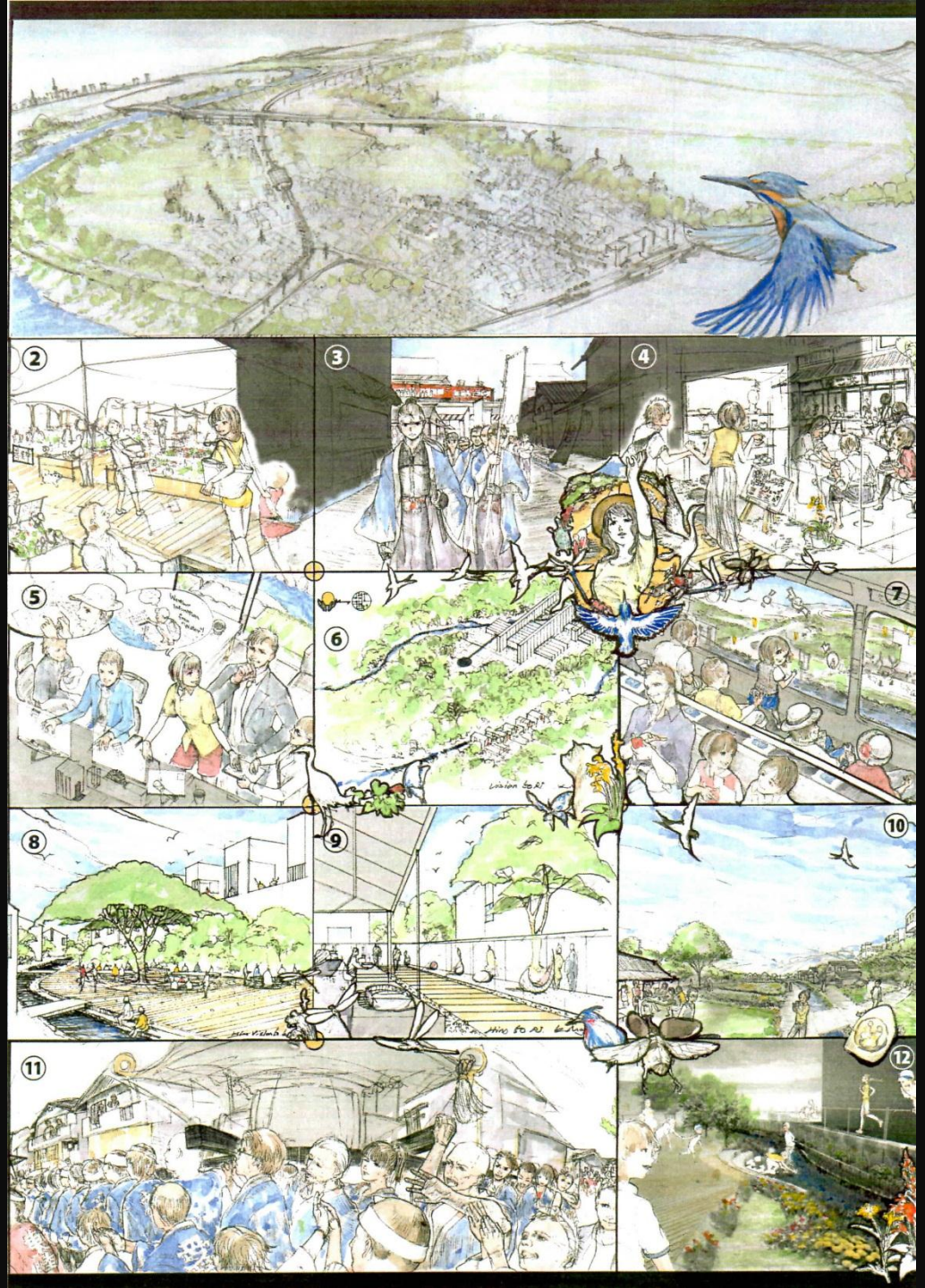
身近で人の集まる水辺へ

Hino Vision 50 -Hino Mandala/水と緑を繋ぐ、水辺を彩る植栽-

・多様な意味・目的を持つ用水路
・遊び、環境教育
・環境的価値（生物多様性、景観気候の安定）等
・大人にとっても価値がある
・スローライフの舞台




②
③
④
⑤
⑥
⑦
⑧
⑨
⑩
⑪
⑫


2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12